

「石川家の人々」を読む会

SINCE 2009. 5. 13.

31

入間市立図書館・各分館と黒須公民館にもファイルがあり、読むことができます。

NEWS

発行：2011. 11. 29.

* 発行責任者：会長・青木和子 (04-2962-5776), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 染井佳夫 (04-2936-3562)

「久保稲荷公民館まつり」・「生涯学習フェスティバル」
・「入間市の文化遺産をいかす会」への参加……

積極的な発信と参加の2011年終わる



△「入間市の文化遺産をいかす会」と共催し、大成功を収めたヴォーリス建築講演会 (5/8)

▽久保稲荷公民館まつり展示の前で会員記念撮影(11/6)



次回 (第31回) 例会・クリスマス会兼忘年会のお知らせ

1. 期日 **12月13日 (火) 午後7:00**
 2. 会場 於：黒須「楽蔵」*黒須1-10-31 (石川洋行敷地内)
 3. 内容 久保稲荷公民館まつり, 生涯学習フェスの反省
- *会費 (2000円程度) は当日集金、参加確認は電話で行います



前回例会の報告とお誘い 生涯学習フェスティバルの準備日 (12/3・土) と当日 (12/4・日) における会員の担当時間帯を決めるとともに、「当日準備するものと担当者」や「オープニングにおける団体アピール」について打ち合わせを行いました。

12/4 (日) は10:30から15:30まで産業文化センターA棟2階ロビー

お知り合いの方を誘うなどして、ご来場ください! 昼食のとれる屋台もあります!

年会費未納の方、資料・テキスト (コピー) 等ご希望の方は下記金額を会計の三浦さんまで!

記

- ① 年会費：2,000円 ② 当面のテキスト「遙かなる石川製糸」：500円

* 打木村治著 (石川信夫との交流を通して彼の心を描く)「原罪歌の人」(女工生活の一面を描く)「支流を集めて」の

配付準備完了。2冊で130円。注文された方は次の例会時おつりのないようにご用意を!

「石川家の人々」を読む会

SINCE 2009. 5. 13.

32

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須両公民館にもファイルがあり、読むことができます。

NEWS

発行：2011. 12. 20

* 発行責任者：会長・青木和子 (04-2962-5776), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 染井佳夫 (04-2936-3562)

「入間市の文化遺産をいかす会」と合同の年間総括・忘年会に24名が参加



12月13日(火)の夜7:00から入間市黒須の石川洋行(石川製糸創業者・幾太郎氏の二男権吉氏に始まる)方の“楽蔵”2階において会恒例の忘年会が今年は「入間市の文化遺産をいかす会」との合同で行われました。それに先だって、久保稲荷公民館まつりと入間市生涯学習フェスティバルへの参加、年間活動への総括も述べ合いました。

次回(第32回)例会のお知らせ

1. 期日 2012年1月27日(金)午後7:00
2. 会場 久保稲荷公民館洋室A
3. 内容 「遙かなる石川製糸」p. 84~110(戦時中の川越工場や松井田町が主な舞台)
4. 報告者 岡野真幸・吉田茂雄の両会員



久保稲荷公民館まつり 入間市生涯学習フェスティバル への参加

それぞれの会の年間活動 等への総括・感想 に見られた意見

- ・ああした市の催しに参加したのも初めてだったが、展示を見て関心を持ってくれた人がいて良かった。特に、熱心に見てくれた子どもたちもいて印象に残った。
- ・3カ月間という準備期間は少し長すぎた。
- ・展示のポイントを何に置くか討議が不十分だったのでは?
- ・初めての参加で参観者の動き方(動線)も予想がつかなかったし、参加回数を重ねれば見えてくるものもあるのでは? 等々...

お知らせ 12月12日(月)に埼玉新聞の取材がありました。「『石川家の人々』を読む会」についての記事が12月22日(木)の県西版「西方見聞録」欄に紹介されます。4時間ほどの丁寧な取材だったので飯能・入間・狭山・川越各市にも石川製糸ゆかりの人や史跡が存在すること等説明しておきました。まずは22日の記事をご覧ください。☒

年会費未納の方、資料・テキスト(コピー)等ご希望の方は下記金額を会計の三浦さんまで!
記

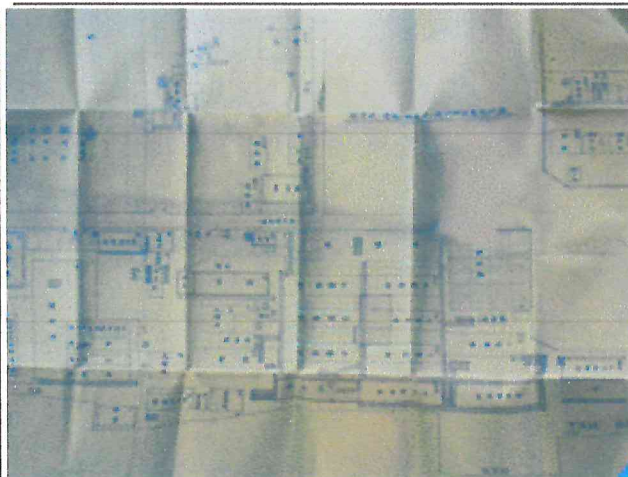
① 年会費: 2,000円 ② 当面のテキスト「遙かなる石川製糸」: 500円

* 打本村治著(石川信夫との交流を通して彼の心を描く)「原野歌の人」(女工生活の一面を描く)「支遊を集めて」の配付準備完了。2冊で130円。注文された方は次の例会時おつりのないようにご用意を! **そろそろ次のテキストについても考えて行きましょう!

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須南公民館にもファイルがあり、読むことができます。

発行：2012. 2. 2.

* 発行責任者：会長・青木和子 (04-2962-5776), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 染井佳夫 (04-2936-3562)



関口なつさんの働いていた

石川組川越工場の建物配置図紹介される

1月27日の例会では岡野巨氏（出席できなかった真幸氏の代理）が石川組製糸第3（川越）工場の建物配置図を紹介しました。現在、川越郵便局や市立図書館の建つ元工場敷地に、西洋館の施工を行った関根平蔵による石川宏之氏邸に関する情報も提供されました。図面は昭和10年以前と15年の貴重な2部が紹介されました。

△昭和10年以前の川越工場建物配置図

工場敷地内には小さな男子寮と大きな女子寮があり、女子浴室は煮繭場の近くにある等、熱効率も考えられた配置となっています。

次回（第33回）例会のお知らせ

1. 期日 **2012年 2月27日（月）午後7：00**
2. 会場 久保稲荷公民館洋室A
3. 内容 ①「遙かなる石川製糸」 p. 84~110（戦時中の川越工場や松井田町が主な舞台）
②「遙かなる石川製糸」 p. 111~136（戦後の川越工場が主な舞台）
4. 報告者 ① 吉田茂雄 氏
② 染井佳夫 氏 の両会員



4月以降のテキスト等について考えていましょう！とりあえずは2案を提示！

1. 石川家芳名帳の277名について 2. 「相生の松」他の精読

現在取り組んでいるテキスト「遙かなる石川製糸」が、あと2、3ヵ月で終了予定です。次のテキスト候補として、まず2点が上がり、若干の意見交換を持ちました。遅くとも3月例会では決めたいと思いますので、ご検討をお願いします。

他のテキスト案をお持ちの方は提案を下さっても結構です。その場合は例会へテキスト候補の実物をお持ち下さい。

年会費未納の方、資料・テキスト（コピー）等ご希望の方は下記金額を会計の三浦さんまで！

記

① 年会費：2,000円 ② 当面のテキスト「遙かなる石川製糸」：500円

* 打木村治著（石川信夫との交流を通して彼の心を描く）「原罪歌の人」（女工生活の一面を描く）「支流を集めて」の配付準備完了。2冊で130円。注文された方は次の例会時おつりのないようにご用意を！

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須南公民館にもファイルがあり、読むことができます。

発行：2012. 3. 3.

＊発行責任者：会長・青木和子（04-2962-5776）、幹事・齋藤祐司（090-2326-7517）、染井佳夫（04-2936-3562）



関口なつさんの働いていた頃

戦時中の石川組川越工場製の軍用ゴムボート

2月27日の例会では吉田茂雄氏が石川組製系第3（川越）工場の経営主体の変遷を「埼玉県蚕糸業史」等からの精緻な資料に基づいて紹介しました。

また、染井佳夫氏は“玉音放送”を聞いた関口なつの親族や幼馴染み等の反応から戦時日本の教育や家族制度を考察して様々な資料や写真を提示しました。

△戦時下の川越製系職員と軍用ゴムボート 両氏の報告後次のテキストや来年度の事業について、**下欄①～④**の話し合いを始めました。3月例会でも話し合うことになると思われますので、できるだけ多くの会員のご参加をお願いします。

次回（第34回）例会のお知らせ

1. 期日 2012年 3月19日（月）午後7：00
2. 会場 久保稲荷公民館洋室A
3. 内容 「遙かなる石川製系」 p. 137～（関口なつの活躍と悩み）
4. 報告者 石川 洋子 氏



①4月以降のテキスト等について考えていきましょう！とりあえずは2案を提示！

1. 石川家芳名帳の277名について 2. 「相生の松」「米寿の安登」等

「遙かなる石川製系」が、あと2、3か月で終了予定です。次のテキスト候補として、まず2点が上がり、若干の意見交換を持ちました。3月例会では決めたいと思いますので、ご検討をお願いします。やむを得ず欠席される方もご意見だけでもお寄せ下さい。

② 例会の会場について それぞれ一長一短があります。表を見てご検討ください。

	久保稲荷公民館	黒須公民館	楽蔵
長所	1階洋室、P ほぼ充分	自転車でも楽に来られる	自転車でも楽に来られる ほぼ曜日でも可
短所	自転車での来館は大変 ほぼ金・土・月	2階洋室、P 狭い、土・日・月と第4金・火	階段が急 P 狭い

* 「P|狭い」というのは、いずれも現在の久保稲荷公民館と比較して…

③来年度の参加について ア.（公民館で行う場合）文化祭 イ. 生涯学習フェス

④近い将来の事業について ア. 西洋館内の展示改訂 イ. 博物館ALITでの企画展

そろそろ新会計年度、資料・テキスト(コピー)等ご希望の方は下記金額を会計の三浦さんまで！
記

- ① 年会費：2,000円 ② 当面のテキスト「遙かなる石川製系」：500円 ＊打木村治著（石川信夫との交流を通して彼の心を描く）「原罪歌の人」（女工生活の一面を描く）「支流を集めて」の配付準備完了。2冊で130円。注文された方は次の例会時おつりのないようにご用意を！

「石川家の人々」を読む会

SINCE 2009. 5. 13.

35

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須南公民館にもファイルがあり、読むことができます。

NEWS

発行：2012. 3. 23.

* 発行責任者：会長・青木和子（04-2962-5776）、幹事・齋藤祐司（090-2326-7517）、染井佳夫（04-2936-3562）



△川系文化の高みを示す「彌生句集」表紙

表紙の絵は句会の指導者川田修齊氏による

「尼寺の菊白し」等関口なつの20句も資料配付されました。貴重な資料を保存活用する川越市立図書館に敬意を表します。

今も"川系文化"のシンボルが川越市立図書館に

「彌生句集」に関口なつの20句も掲載

3月19日（月）の例会では石川洋子氏が石川組製糸の後継企業である川越製糸の文化部彌生俳句会（「遥かなる石川製糸」p.135 参照）が昭和26年5月に100回目の句会を記念して会社の全面的な応援を受けて発刊した「彌生句集」や、1994年まで埼玉県本庄市で操業した川越製糸他の後継企業である埼玉繊維工業（現在はバナー工業として営業）の岡本文代さんの回想記を紹介された。

「尼の庵 梅のうしろに見えそめし」「霜よけを して

次回（第35回）例会のお知らせ

1. 期日 **2012年 4月26日（木）午後6：30**
2. 会場 **石川洋行の楽蔵2F（公民館ではありません）**
3. 内容 ①「時の流れに-石川製糸の盛衰-」 p. 9~12（石川組の誕生、田中商店）
②石川家芳名帳 No.1~4
4. 報告者 ①三浦久美子 氏
②染井 佳夫 氏



①4月以降のテキストは、次の2資・史料を併行することに決定！

1. 柳井潔著「時の流れに-石川製糸の盛衰-」
2. 石川家芳名帳の277名について

② 例会の会場について

久保稲荷公民館、黒須公民館、楽蔵の3カ所について検討した結果、まず楽蔵で始めてみようということになりました。

③来年度の参加について ア. 公民館の文化祭-保留 イ. 生涯学習フェス-参加

④近い将来の事業について ・西洋館内の展示改訂、博物館ALITでの企画展 等継続検討

* 現在まで会長としてお努めいただいた青木和子氏が辞意を表明されました。また、岡野氏より「会則や会計・決算等の整備も必要」との意見も出ました。近々、話し合いが必要と思われるので、お考えおきください。

そろそろ新会計年度、資料・テキスト(コピー)等ご希望の方は下記金額を会計の三浦さんまで！

記

- ① 年会費：2,000円(4月例会で集金します)
- ② 希望者には実費で 当面のテキスト：300円 *打木村治著(石川信夫との交流を通して彼の心を描く)「原罪歌の人」(女工生活の一面を描く)「支流を集めて」の配付準備完了。2冊で130円。注文された方は会計の三浦さんまで、おつりのないようにご用意を！

「石川家の人々」を読む会

SINCE 2009. 5. 13.

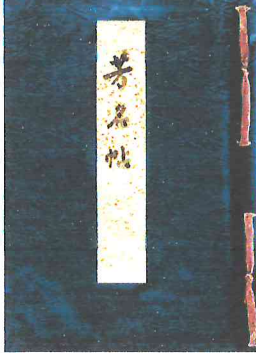
36

NEWS

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須両公民館にもファイルがあり、読むことができます。

* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当 発行：2012. 5. 3.

石川家「芳名帳」の会読始まる！



When I remember Toyooka I think first of the great assembly room so fresh in its own Japanese beauty. I see the heaps of snow-white cocoons, and the dexterous hands that sort them over so quickly. I see the spinning room where by some kind of magic, the girls reel the delicate thread from the cocoon into fine silk. Then I remember the kind faces of the men who manage this large business, the friendly influence of the past, and I know that all to do well with these people in their work together. And I am glad there are people who are so happy together. Caroline E. Furness

アメリカの天文学者にしてアジア女性の理解者・**Caroline Furness** 女史の訪問等興味深い事実分かる！

【左の記事・抄訳】

私は純日本式の新しい講堂と、雪のように真っ白な堆く積まれた繭、糸を繰る乙女たちの器用な手を思い出します。此の大事業を管理する人々の親切な面影や友情に富んだ牧師の感化は深く記憶に残っています。

ワッサー女子大学教授ファルス(ファルネス)

△「芳名帳」表紙
英文筆文字の記事▷

勝海舟の三女・明治政府のスーパー官僚で日本における音楽教育の開祖夫人

目賀田逸(種太郎氏の夫人)らが1918(大正7)年に来訪!

夫の目賀田種太郎氏は1853(嘉永6)年生まれ。昌平坂学問所・開成所で漢学・数学を学び、ハーバード大に留学。帰国後、文部省留学生監督官、大蔵省主税局長等歴任。後、貴族院議員。井沢修二と音楽教育意見書を提出。設立した専修大学(設立当初は「専修学校」)は日本で初めて日本語で法学を体系的に教えた画期的な学校だった。

伊集院秀

目賀田逸

大正七年十一月廿八日

次回(第36回)例会のお知らせ

1. 期日 **2012年5月28日(月)午後6:30**
2. 会場 **石川洋行の楽蔵2F(公民館ではありません)**
3. 内容 ①「石川信夫—悲運の大器—」
②石川家芳名帳 No.6~12
4. 報告者 ①忍足 ミツ子 氏(短歌誌「滄」同人)
②石川 嘉彦 氏



*前号でお知らせしたとおり、3年間会長をお務めいただいた青木和子氏のご都合により辞意を表明されましたので、前幹事の染井佳夫氏が会長を引き継ぐこととなりました。これまでの青木和子氏のご尽力に感謝いたします。今後ともご協力よろしく願いいたします。なお、「ニュース」余部を活用しての会員増にご配慮ください。

新年度会費(2000円/年)集金中、2012.4.26 現在8名の方が未納です。お急ぎ下さい。資料・テキスト(コピー)等ご希望の方も下記金額を会計の三浦さんまで!

記

① 年会費: **2,000円(4月例会で集金します)** ② 希望者には**実費** 当面のテキスト: 300円 注文される(た)方は、おつりのないようにご用意!

「石川家の人々」を読む会

SINCE 2009. 5. 13.

37

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須町公民館にもファイルがあり、読むことができます。

NEWS

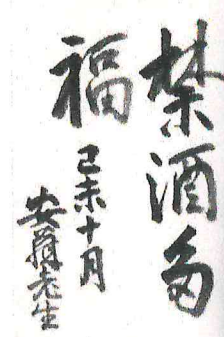
* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当 発行：2012. 6. 1.

石川信夫短歌集「シネマ」が開いた新世界！ 短歌誌「滄」同人忍足ユミ氏が5月例会で語る



5月28日(月)の第36回例会では、國學院大學OBからなる 安藤太
短歌誌「滄」同人の忍足ユミ氏が石川信夫の短歌集「シネマ」 郎は明治期の
について、歌人の立場から特別報告をされました。 外交官。父は現在
氏は報告の中で、同時期に活躍し、志 の埼玉県毛呂山町出身
を同じくしていた前川佐美雄、齋藤 の医師(文沢・鳥羽藩の藩医)
史等と共に興した“新興短歌” で種痘の先駆者として知られます。
の運動について述べられ、戊辰戦争で榎本武揚の軍に投じ、五稜郭

△「文芸春秋」社時代の石川信夫 た後、川越中学時代 で降り禁固1年。その後、大蔵省に出仕。
の作品から窺える彼の才能や「シネマ」所収の 外務省に転じ岩倉使節団にも4等書記官として随行。
作品に見られる新しい短歌観を指摘され 香港副領事、上海総領事を経てハワ
イ総領事の時に受洗。酒豪として知られてい
た。そして、そんな彼に最も強い影 響を与えたのが、日本歌壇で
ました。フランス詩人 人が馬丁に割らせたのを機に禁酒を断行。東京禁酒会や
のジャン・コクトー 日本禁酒同盟会会長を長く務めました。
だったと結ば 「石川家芳名帳」に関する第2回報告者の石川嘉彦氏は英語力と豊富な
聖書の知識で4人のキリスト者の英文の記録を訳し、初代ハワイ総領事の安藤
太郎の逸話や尾尾の安藤記念教会について等興味深い報告をされました。

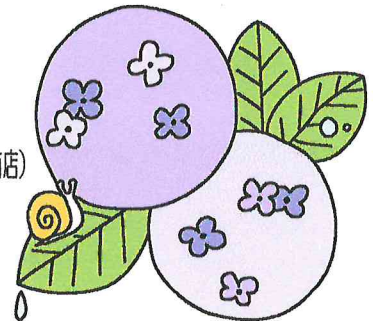


石川家芳名帳からは次々に発見が！

初代ハワイ総領事 安藤太郎氏が「禁酒多福」の揮毫

次回(第37回)例会のお知らせ

1. 期日 2012年 6月18日(月) 午後6:30
2. 会場 石川洋行の楽蔵2F (公民館ではありません)
3. 内容 ①「時の流れに-石川製糸の盛衰-」 p. 9~12 (石川組の誕生, 田中商店)
②石川家芳名帳 No.12~16 (大木信次郎他)
4. 報告者 ① 三浦久美子氏
② 上田知佐子氏



当面のテキスト(コピー)ご希望の方は下記金額を会計の三浦さんまで！

記

実費：当面のテキスト：300円 注文される(た)方は、おつりのないようにご用意を！

わたしたちと月1回の例会で旧石川組製糸について学びませんか？

学びたい人募集しています！会場：原則として石川洋行「楽蔵」(黙)会費：2000円/年

「石川家の人々」を読む会

SINCE 2009. 5. 13.

38

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須西公民館にもファイルがあり、読むことができます。

NEWS

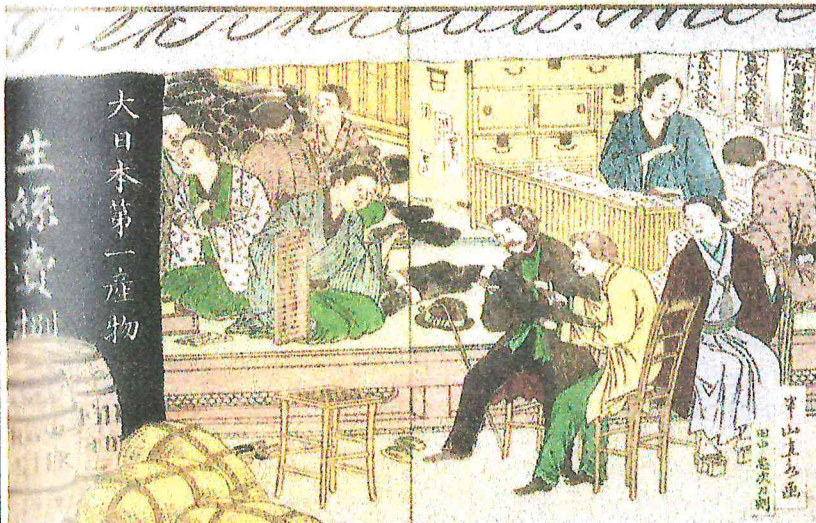
* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当 発行：2012. 6. 28.

「時の流れに一石川組製糸の盛衰」報告始まる

製糸結社・共進社石川製糸所として発足 (M26 ~ 36) - 石川組製糸所の誕生経緯 - を報告

6/18 に行われた第 37 回例会では報告者の三浦久美子氏が、「石川家の人々」や県及び市史の資料他から石川幾太郎による創業が長谷部代次郎（豊岡）向山勝四郎（川越）小島太之助（八王子）らと共進社という製糸結社を結成し、買い継ぎ商を通さずに横浜の亀善（原善三郎、三溪の父の会社）に販売していたことを明らかにされた。

また、「石川家芳名帳」については、上田知佐子氏が、大正 8 ~ 9 年にかけて訪れたアメリカ人訪問者とアメリカ在住の生糸ブローカー大木信次郎について横浜市史や神戸大学付属図書館の資料等を用いて、ていねいな報告をされた。



△横浜市中に於いて外国人生糸見分くる図〔半山直水〕

紐育生糸ブローカー
大木信次郎
大正九年七月九日

△ 大木信次郎氏の記帳

次回 (第38回) 例会のお知らせ

1. 期日 **2012年 7月27日 (金) 午後6:30**
2. 会場 **石川洋行の楽蔵 2F (入間市黒須 1-10-30)**
3. 内容 ①「時の流れに一石川組製糸の盛衰」 p. 12~15 (『驚異的な発展』他)
②石川家芳名帳 No.16~20 (藤山雷太・足立栗園他)
4. 報告者 ① 青木和子 氏
② 吉田茂雄 氏



当面のテキスト (コピー) ご希望の方は下記金額を会計の三浦さんまで!

記

実費： 当面のテキスト：300円 注文される (た) 方は、おつりのないようにご用意を!

わたしたちと月1回の例会で旧石川組製糸について学びませんか?

学びたい人募集しています! 会場：原則として石川洋行「楽蔵」(黒須) 会費：2000円/年

「石川家の人々」を読む会

SINCE 2009. 5. 13.

39

NEWS

入間市立図書館・各分館七久保稲荷、黒須南公民館にもファイルがあり、読むことができます。

* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当 発行：2012. 8. 3.

「時の流れに—石川組製系の盛衰—」第2回報告

「秘格」「矢島格」等、生糸格付け関係・田中(新七)商店関係資料が紹介される

7/27(金)に行われた第38回例会では報告者の青木和子氏が、「石川家の人々」や過去の例会資料及びインターネット検索による資料等から日本で行われていた生糸の格付けとその名称(例:「矢島」「依田社」等)の由来について報告されました。また、石川組製系の輸出窓口であった田中新七について貴重な資料を社屋や菩提寺(鶴見総持寺)の写真とともに紹介された。

財界人藤山雷太とともに衆議院書記官長寺田栄(鳩山元首相の曾祖父)が訪れる

また、「石川家芳名帳」については、吉田茂雄氏が、大正10年に訪れた大日本製糖社長・東京商工会議所会頭藤山雷太氏とともに当時衆議院書記官長だった寺田栄(②)が石川家を訪問した事実について報告をされた。なお、寺田栄は鳩山由紀夫元首相・鳩山邦夫衆議院議員兄弟の曾祖父にあたる人物であることを報告された。また、②2人目の河井彌八は当時貴族院書記官長、戦後は参議院議員

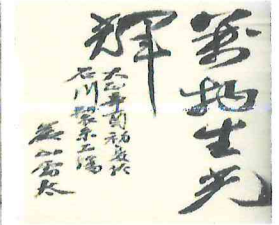
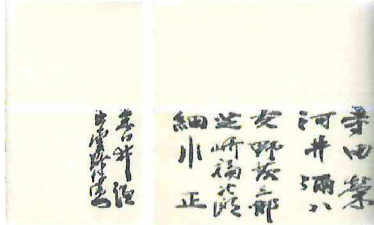
④
後に参院議長や文化財保護委員会委員長を務めた。

②の友野茂三郎は衆議院

速記者として議事録作成に

あたった。芝崎福次郎・細

川正(②)・春日井温(?)・出



△足立栗園

△①~③は藤山雷太とその同行者たち

雲路保右衛門(③)については不明でした。お分かりの方はご連絡をお願いします。④の足立栗園は明治後期から大正・昭和にかけての「心学」の研究者で「江戸叢書」の編修者。

次回(第39回)例会のお知らせ

1. 期日 **2012年8月31日(金) 午後6:30**
2. 会場 **石川洋行の楽蔵2F (入間市黒須1-10-30)**
3. 内容 ①「時の流れに—石川製系の盛衰—」p. 16~21 (「優遇された工女」他)
②石川家芳名帳 No.21~33 (巖谷小波・大成運動)
4. 報告者 ①染井 佳夫 氏
②吉田茂雄氏/黒田毅氏(予定)



生糸に関する博物館のご紹介 夏休みがとれたら生糸に関する博物館へ行ってみませんか?

・片倉シルク記念館/熊谷市本石2-135 (048-522-4316) ・八王子市立絹の道資料館/八王子市鑑水989-2 (042-676-4064) ・群馬県立日本絹の里/高崎市金古町888-1 (027-360-6300) ・岡谷市立蚕糸博物館/岡谷市本町4-1-39 (0266-22-5854)

わたしたちと月1回の例会で旧石川組製系について学びませんか?

学びたい人募集しています! 会場: 原則として石川洋行「楽蔵」(黒須) 会費: 2000円/年

「石川家の人々」を読む会

SINCE 2009. 5. 13.

40

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須雨公民館にもファイルがあり、読むことができます。

NEWS

* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当 発行：2012. 9. 5.

巖谷小波の来訪、そして、大成運動に参加した大正期の本地域のキリスト教徒たち

8/31(金)に行われた第39回例会では、「石川家芳名帳」について、吉田茂雄氏が、大正11年に訪れた巖谷小波氏について詳細な資料とともに報告を行いました。ベルリン大学

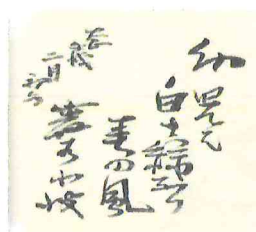
講師時代に美濃部達吉とも交友
があったことや、渡米実業団
で在米中に生まれた二男には
渋沢から一字をもらって「栄
二」と名付けたこと、若き日
の恋の相手川田綾子とのいき
さつが師の尾崎紅葉により「金

④

③

②

①



色夜叉」のモチーフとなったこと等興味深いものでした。(上掲写真①)

また、忙しい時間を割いて報告いただいた黒田毅氏は45名にも上る大成運動打ち合わせ会出席者についてその主要メンバーがメソジスト教会の監督や本庄・島村(群馬県)教会、川角教会等各地の教会の牧師たちであったことを明らかにされました。(上掲写真②③④)

「時の流れに—石川組製糸の盛衰—」第3回報告

「黒の上着に黒の袴、白襟、白足袋に重ね草履といった粋な教婦スタイルはカラスと…」

報告者の染井佳夫氏が、テキスト「時の流れに」の記述を過去の例会資料及び「石川家の人々」や「遙かなる石川製糸」等既に読了したテキスト、さらには「繊維労使関係の史的分析」等の論考を用いて検証しました。また、参考資料として「黒須銀行ものがたり」(A5版全7ページ)が配付されました。

次回(第40回)例会のお知らせ

1. 期日 **2012年9月25日(水) 午後6:30**
2. 会場 **石川洋行の楽蔵2F (入間市黒須 1-10-30)**
3. 内容 ①「時の流れに—石川製糸の盛衰—」p. 22~29 (「生産コストで競争」他)
②石川家芳名帳 No.34~35 (賀川豊彦の来豊 他)
4. 報告者 ① 石川嘉彦 氏
② 日比保紀 氏 (新会員です。囲碁3段とか…)



文化財特別公開のご案内 西洋館と黒須銀行の特別公開は9、10、11月の下記期日です!

- 9月15日(土)、10月13日(土)、11月10日(土)の**10:00~16:00**
- **2階まで公開は10月13日のみ**、他は1階のみが公開されます。
- 博物館ボランティア会に入って公開のお手伝いをお願いできませんか?募集中です。

わたしたちと月1回の例会で旧石川組製糸について学びませんか?

学びたい人募集しています! 会場:原則として石川洋行「楽蔵」(黒) 会費:2000円/年

「石川家の人々」を読む会

SINCE 2009. 5. 13.

41

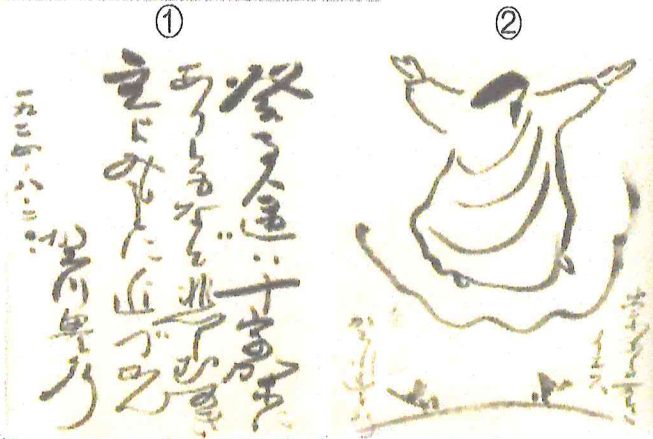
NEWS

入間市立図書館・各分館と久保瀬荷、黒須両公民館にもファイルがあり、読むことができます。

* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当 発行：2012. 9. 26.

賀川豊彦氏戦前に2度の石川家訪問—新会員日々氏の報告から—

9/25 (火) に行われた第40回例会では、新会員の日々保紀氏が、「石川家芳名帳」から、大正13年(1924)と昭和3年(1928)の2度にわたり石川家を訪れた賀川豊彦氏について報告を行いました。徳島に生まれ若くして受洗し、明治学院や神戸神学校に学び米プリンストン大学に留学した賀川の活動の意義や思想的な魅力について参加者の中で活発な議論が交わされました。



「豊岡町石川本店・石川あ々ちゃん様」で届いた石川信夫のハガキ！ 等々発見や新資料の紹介相次ぐ！

例会では会員が発見した史料等の紹介が相次ぎました。忍足ゆみ氏は、石川絃一郎氏所蔵の石川信夫からおツメさん(絃一郎氏の祖母・幾太郎氏の妹)あてのハガキが「埼玉県入間郡豊岡町石川本店・石川あ々ちゃん様」の宛名で出されていたこと、文面が「あたくさかくなりました。実によい時候ですね。今日と明日は日曜と春季皇霊祭とつづいて春休みです。こっちは二十五日が卒業式ですから二十七日頃中沢さんと参ります。…」と川越中学入学に向けて帰埼玉することを知らせたものでした。



次回(第41回)例会のお知らせ

1. 期日 **2012年10月30日(火) 午後6:30**
2. 会場 **石川洋行の楽蔵2F (入間市黒須 1-10-30)**
3. 内容 ①「時の流れに—石川製糸の盛衰—」p. 22~29 (「生産コストで競争」他), ②石川家芳名帳 No.34, 36~38 (伊東紀十郎 他)
4. 報告者 ① 石川嘉彦 氏
② 青木和子 氏

「信公」の署名や「あ々ちゃん様」という宛名に2人の心的交流の深さがうかがえます。また、森

鷗外の最初の妻登志子と繁田武平氏が親戚関係にあったことを吉田茂雄氏が紹介しました。

文化財特別公開のご案内 西洋館と黒須銀行の特別公開は10、11月の下記期日です！

- 10月13日(土)、11月10日(土)の10:00~16:00
- 2階まで公開は10月13日のみ、11月10日は1階のみが公開されます。
- 博物館ボランティア会に入って公開のお手伝いをお願いできませんか？募集中です。

わたしたちと月1回の例会で旧石川組製糸について学びませんか？

学びたい人募集しています！会場：原則として石川洋行「楽蔵」(黒須) 会費：2000円/年

「石川家の人々」を読む会 SINCE 2009. 5. 13.

42

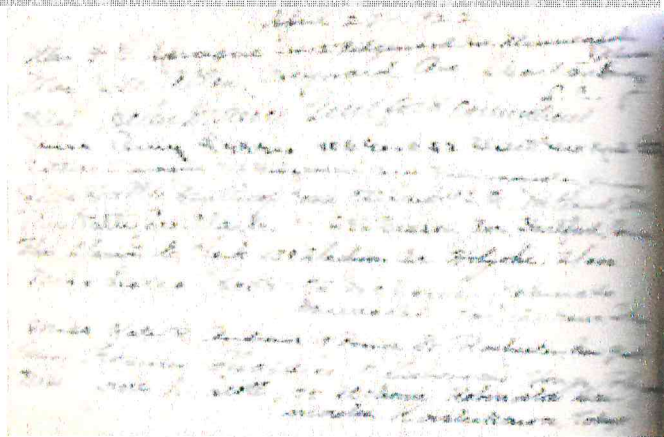
入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須両公民館にもファイルがあり、読むことができます。

NEWS

* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当 発行：2012.11. 1.

全米各地から9人、在日2人計11人のアメリカ人女性たちが訪問！その目的は？

10/30(火)に行われた第40回例会で、青木和子氏は「石川家芳名帳」から、大正11年に訪れたアメリカ人女性たちの住所や訪問日等から興味深い考察を行いました。訪問団を引率してきたと思われる日本YWCA総幹事のJane Scott女史の住所が実は文京区小石川小日向台町の新渡戸稲造邸であったことが青木氏の調査により分かりました。この訪問団が何の為の訪問団なのか(可能性として



①大成運動の関係 ②大隈重信の依頼で開設した早稲田奉仕園にスコット夫人らの援助により併設された Scott Hall の完成に伴うもの等も考えられるようです(一団の中に「スコット」の名がある)魅力的な謎が広がりますね。

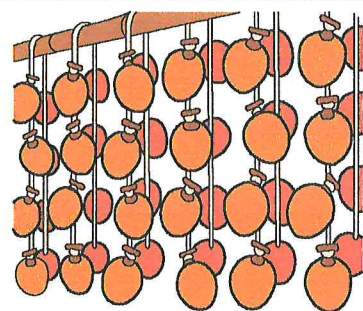
「時の流れに一石川組製糸の盛衰」第4回報告

近隣産の繭を仕入れることで、生産コストは県平均よりも20円/60kg安く…

報告者の石川嘉彦氏が、テキスト「時の流れに」p.22～29の記述を元に、県内各社の生糸の生産費比較や繭の生産と買い取り、繭玉祭等について報告されました。蚕の一生についての分かりやすい図も配付され大変参考になりました。

次回(第40回)例会のお知らせ

1. 期日 2012年11月27日(火) 午後6:30
2. 会場 石川洋行の楽蔵2F (入間市黒須 1-10-30)
3. 内容 ①「時の流れに一石川製糸の盛衰」p.30～33 (「石川製糸の帰郷列車」他)
② 生涯学習フェスティバルの準備
4. 報告者 ① 吉田茂雄 氏
② 出席者全員



文化財特別公開のご案内 西洋館と黒須銀行今年最後の特別公開は11月10日です!

- 10:00～16:00 1階のみが公開されます。
- 博物館ボランティア会会員になって公開のお手伝いをお願いできませんか?募集中です。
ご連絡は染井まで!

わたしたちと月1回の例会で旧石川組製糸について学びませんか?

学びたい人募集しています! 会場: 原則として石川洋行「楽蔵」(黒須) 会費: 2000円/年

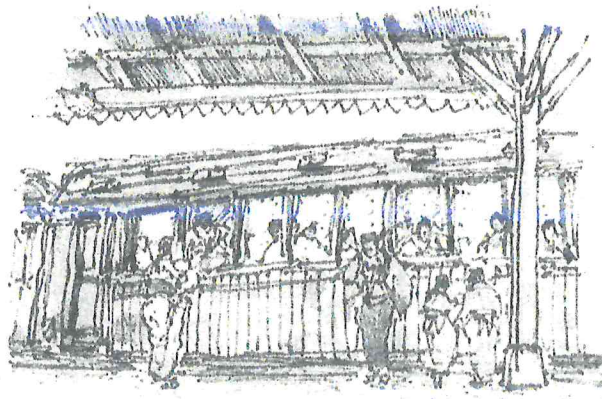
入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須南公民館にもファイルがあり、読むことができます。

* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当

発行：2012.11.30.

「石川組製系の帰郷列車」他を吉田氏が報告

第40回例会では
会員の吉田茂雄氏が
「…帰郷列車」および
「石炭運びと梅干し」
について報告されまし
ました。1粒5厘のキャラ
メルを工女たちが窓か
ら撒く場面がいきいき
と描かれた記述を元に
川越鉄道や森永キャラ
メルの歴史についての
詳細な報告でした。



停車中の石川製系帰郷列車



△大正8年以降の森永
ミルクキャラメル
大正期のエンゼルマーク



大正4年(1915年)

▲「時の流れに」中の帰郷列車挿絵(菅原南岳画)
なお、例会には石川幾太郎の曾孫にあたる袴田機彦(みちひこ)氏も出席され、そで氏(幾太郎氏の長女)やお洒落だった石川源一郎氏(本家)四郎氏(池袋)、石川信夫に関する想い出話等貴重なお話を聞かせていただきました。

▲現在のマークと比較
してみましょう。

次回(第41回)例会兼忘年会のお知らせ

1. 期日 2012年12月21日(金) 午後6:30
2. 会場 石川洋行の楽蔵2F (入間市黒瀬1-10-30)
3. 内容 ① 石川家芳名帳中の賀川豊彦氏の記帳に関連して
賀川豊彦記念館松沢資料館の紹介
② 忘年会(会費:未定、3千円程度ご用意下さい。)
4. 報告者 ① 染井佳夫氏 *会員の方は出欠連絡を石川洋子(2962-3420)または
② 出席者全員 染井(2936-3562)へ、12/14までにお知らせください。



希少テキストのコピー残部あります!まだお持ちでない方は会計の三浦さんまで乞ご連絡!

- ・「時の流れに」(現在使用中のテキスト)実費頒価:300円
- ・入間市博物館ボランティア会会員になって公開のお手伝いをお願いできませんか?募集中です。ご連絡は染井(電話番号は題字下に記載)まで!

わたしたちと月1回の例会で旧石川組製系について学びませんか?

学びたい人募集しています!会場:原則として石川洋行「楽蔵」(黒瀬)会費:2000円/年

「石川家の人々」を読む会 SINCE 2009. 5. 13.

44

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須両公民館にもファイルがあり、読むことができます。 **NEWS**

* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当 発行：2012.12.25.

賀川豊彦記念松沢資料館へ行ってきました！

賀川の肉声が聴ける礼拝堂や充実した資料展示も！



△賀川豊彦記念松沢資料館（階段を上って2階）



隣には
松沢教会

12/12 に京王線上北沢駅近くの賀川豊彦記念松沢資料館を訪ねてきました。賀川氏は1924年28年の2回石川製糸（家）を訪ねています。

12/26 まで
の特別展



次回（第45回）例会のお知らせ

1. 期日 **2013年1月28日（月）午後6：30**
2. 会場 **石川洋行の楽蔵2F（入間市黒須 1-10-30）**
3. 内容 ① 特別報告「石川組製糸川越工場の棟札について」
② 「石川家芳名帳」p. 39～p.40 半平・升仁-
4. 報告者 ① 齋藤祐司氏（久々の登場・報告です）
② 石川嘉彦氏（予定）



12月例会時に鳴門市の賀川豊彦記念館図録が行方不明です。お荷物に誤混入した方は次回お持ち下さい！染井

- ・「時の流れに」（現在使用中のテキスト）実費頒価：300円
- ・入間市博物館ボランティア会会員になって公開のお手伝いをお願いできませんか？募集中です。ご連絡は染井（電話番号は題字下に記載）まで！

わたしたちと月1回の例会で旧石川組製糸について学びませんか？

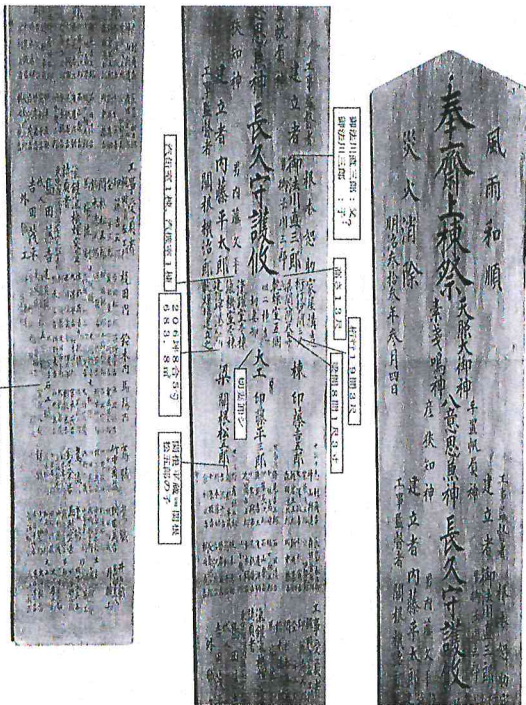
学びたい人募集しています！会場：原則として石川洋行“楽蔵”（黒須）会費：2000円/年

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須南公民館にもファイルがあり、読むことができます。

* 発行責任者：会長・染井佳夫（04-2936-3562）、幹事・齋藤祐司（090-2326-7517）、三浦久美子・会計担当 発行：2013. 1. 31.

発見された御法川生繭乾燥所（後に石川組製糸が購入）の棟札！

明治30年代川越の名だたる棟梁・職人たちが勢ぞろい！！



1月28日（月）の第44回例会は石川洋行母屋の応接室において行われました。報告者の齋藤祐司氏が、旧石川組製糸西洋館地下から発見された御法川生繭乾燥所（後の石川組製糸川越工場）の棟札について報告しました。特別参加の荒牧澄多氏（川越蔵の会）のご指摘から、棟札に記された棟梁や職人の多くが川越でも屈指の名匠たちであったこと等が分かりました。

1928年に石川家を訪れたチェイニー氏は 米国でも有数の製糸起業家だった

—「石川家芳名帳」より—

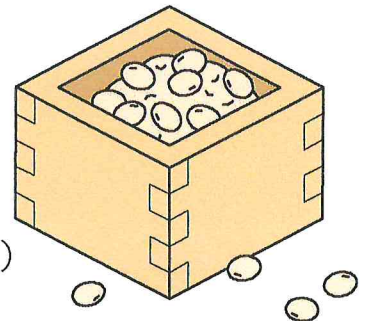
また、石川嘉彦氏は1928. 6. 6. に訪問されたチェイニー氏がバイヤーではなく、米コ行ハット州の有力製糸企業チェイニー・ブラザーズの経営者であったことが報告されました。

チェイニー氏の記帳 ▶

△右より棟札の上・中・下部、工事監督者は川越在住者ではないらしい。施主の御法川なお三郎が本社のある東京から派遣したのか？

次回（第45回）例会のお知らせ

1. 期日 2013年2月25日（月）午後6：30
2. 会場 石川洋行の楽蔵2F（入間市黒須 1-10-30）
3. 内容 ① 「時の流れに」 p.42～45（「川越製糸の再建」）
② 「石川家芳名帳」 p. 39（半平）
4. 報告者 ① 齋藤祐司氏（1月例会に続き2月も報告します）
② 吉田茂雄氏



- 「時の流れに」（現在使用中のテキスト）実費頒価：300円
- 入間市博物館ボランティア会会員になって公開のお手伝いをお願いできませんか？募集中です。ご連絡は染井（電話番号は題字下に記載）まで！

わたしたちと月1回の例会で旧石川組製糸について学びませんか？

学びたい人募集しています！会場：原則として石川洋行「楽蔵」（黒須）会費：2000円/年

「石川家の人々」を読む会

SINCE 2009. 5. 13.

46

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須町公民館にもファイルがあり、読むことができます。

NEWS

* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当

発行：2013. 3. 1.

戦前から戦後にかけての「川越製糸」の苦闘

国策会社化3年間をはさむ15年を「埼玉県蚕糸業史」等から齋藤祐司氏が報告

石川組製糸株式会社が解散したのち、銀行に見放されることのなかった川越工場だけは製糸会社として生き残り、昭和14年に石川仁平を社長として「川越製糸株式会社」が設立された。

17年仁平の死後長男の秀夫が二代目社長となるが、翌年主計将校として応召。その年、国策会社日本蚕糸製造に合同させられた。戦後21年の復員後、GHQの指示により復活させられていた川越製糸の社長に復帰した。

齋藤報告では、戦時期の製糸業界の動きを①「蚕糸業統制法」により、300釜以上の大工場（単独）とそれ以外の工場からなる3つのグループ（熊谷、児玉、川越）にまとめて国策として生糸製造にあたらされた時期

②「日本蚕糸製造株式会社」と「日本共栄蚕糸組合」の2つに統合させられた時期に分

「石川家芳けられることが示された。①は昭和16年名帳」からは吉田茂から、②は昭和18年からである。

雄氏が、鎌倉時代の作とさ齋藤氏は「埼玉県蚕糸業」に記されている古歌「なるこをばおのが羽史」という大部の資料を元に報告された。風にゆるがしておのれと騒ぐ群雀哉」を記帳していたことを報告された。

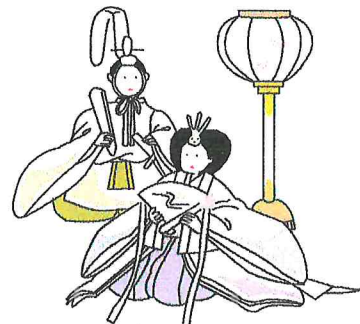
なお、この古歌は甲源一刀流の目録等にもひかれています。半平は後藤新平や漱石とも親交がある禁酒運動家だった。

なるこをばおのが羽
風にゆるがしておのれと騒ぐ群雀哉
石川家芳
半平

内務省技官で漱石の随筆にも登場のキリスト教徒・長尾半平が古歌を記帳

次回（第46回）例会のお知らせ

1. 期日 2013年3月29日（金）午後6：30
2. 会場 石川洋行の楽蔵2F（入間市黒須 1-10-30）
3. 内容 ① 「時の流れに」 p.46～48（「勉強会と川糸会」）
② 「石川家芳名帳」 p. 43～（範囲未定）
4. 報告者 ① 吉田茂雄氏
② 染井佳夫氏



・「時の流れに」（現在使用中のテキスト）実費頒価：300円

・入間市博物館ボランティア会会員になって公開のお手伝いをお願いできませんか？募集中です。ご連絡は染井（電話番号は題字下に記載）まで！

わたしたちと月1回の例会で旧石川組製糸について学びませんか？

学びたい人募集しています！会場：原則として石川洋行「楽蔵」（黒）会費：2000円/年

「石川家の人々」を読む会

SINCE 2009. 5. 13.

47

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須両公民館にもファイルがあり、読むことができます。

NEWS

* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当 発行：2013. 4. 1.

戦後に花開いた「川糸文化」は俳句をはじめ多彩に！

復員した石川秀夫社長・恭子夫人の尽力と山村学園高(現)の協力の下に

戦後の川越製糸における文化活動について吉田茂雄氏が報告されました。昭和22年3月に発足した「川越製糸弥生俳句会」の指導者川田修齋氏が「ほととぎす」系の俳人で中央の俳誌「若葉」の同人であったことから同誌の主宰者・富安風生についても紹介されました。富安は通信次官まで務めたエリート官僚ですが51歳で次官を退官して句作三昧の生活を送った粹人

でもあります。また、川糸文化を指導者として支えた川越高等家

政女学校（現山村女子高）の創始者山村婦みよの両親が

山梨県甲府市出身の石川組製糸川越工場従業員であっ

たこと、母・はるのが優良工女として表彰 芳名帳に記載

を受けていたこと等を報告され のある中に狂歌(?)を

ました。 詠んだ方がいました。「よ古し

満に はって教えし 蟹能子に 直ぐに

ゆ希登は 無理な親蟹」の一首と戯図が描かれて

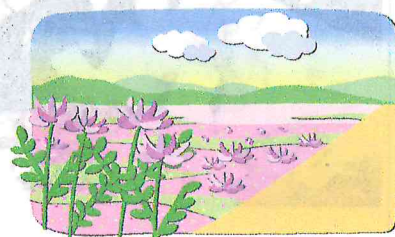
います。来訪者名も来訪の日時も不明ですが、1928

(昭和3)年から1940(昭和15)年の間と思われる。



次回(第47回)例会のお知らせ

1. 期日 2013年4月26日(金)午後6:30
2. 会場 石川洋行の楽蔵2F (入間市黒須 1-10-30)
3. 内容 ① 「時の流れに」p.49~52 (「時の流れに」)
② 「石川家芳名帳」p. 47~ (範囲未定)
4. 報告者 ① 石川嘉彦 氏
② 染井佳夫 氏



・「時の流れに」(現在使用中のテキスト) 実費頒価：300円

・入間市博物館ボランティア会会員になって公開のお手伝いをお願いできませんか？募集中です。ご連絡は染井(電話番号は題字下に記載)まで！

わたしたちと月1回の例会で旧石川組製糸について学びませんか？

学びたい人募集しています！会場：原則として石川洋行「楽蔵」(黒須) 会費：2000円/年

石川家から出た不世出の歌人石川信夫探訪

特集版

47号附録

信夫の妹石河輝子(中村照子)氏を訪ねました

3/27(水)、会員の青木和子、忍足ゆみ、染井佳夫で歌人・石川信夫の末妹ペンネーム石河輝子(石川照子→中村照子)氏を町田市内のご自宅を訪ねてお話をお聞きしました。



◁ 黙考する石河輝子氏と娘の鈴木ひとみ氏。輝子氏は、信夫の16歳下の妹で歌人・作家。

石川幾太郎の末妹りよと夫保次郎の末娘(幾太郎の姪)にあたる。ひとみ氏は私たちの訪問にあわせて京都のお住まいから上京(下向?)された。

石河輝子氏にインタビュー中の忍足ゆみ氏▷



◁石河輝子氏母子と記念撮影。左から忍足氏青木和子氏鈴木ひとみ氏石河輝子氏染井佳夫氏

石河家を辞してから、せっかく町田へ来たのだからと、白洲次郎・正子氏の別荘として建てられ、晩年の住まいでもあった「武相荘(ぶあいそう)」を訪ねました。▷



6月頃石川信夫の歌集「シネマ」が、ながらみ書房から待望の復刊予定!

「石川家の人々」を読む会 SINCE 2009. 5. 13.

48

入間市立図書館・各分館と久保蔵荷、黒須両公民館にもファイルがあり、読むことができます。

NEWS

* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当 発行：2013. 5. 1.

本店・川越工場の戦後のあゆみと原ノ町(保次郎・信夫...)の悲運！

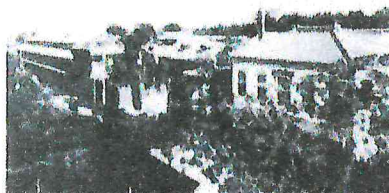
— 石川組解体後の各工場・各家 —

石川嘉彦氏は「遙かなる石川製糸」(関口なつ著)他の資料を元に本店・川越両工場の戦後のあゆみを対比し、自身の経験も交えて報告されました。

また、石川組製糸の解散に至る中で、借金に対する抵当権の設定について各工場により違いがあったことも報告されました。

その後の話し合いの中では抵当権の設定

されていた原ノ町工場(石川保次郎氏)が大変辛い思いをされたこと等にも触れられました。なおその経緯は石河輝子著「レクイエム」からも知れます。



△石川組川越工場



△原ノ町工場煙筒

仁者得寿

海軍中将小野徳三郎氏(戦後第8代青山学院大学長に)や元アナキストの社会運動家・

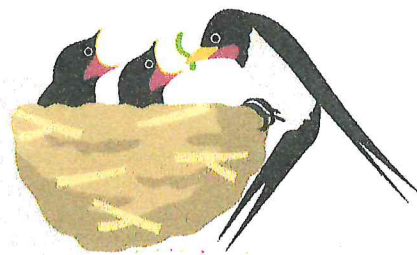
◁海軍中将小野徳三郎「仁者得其寿」

佐藤正男氏が戦中に来訪！

染井佳夫氏は「石川家芳名帳」より、軍人・社会運動家など多彩な来訪者があったことについて報告されました。「日本陸(海)軍将官総覧」PHP刊も紹介。

次回(第48回)例会のお知らせ

1. 期日 2013年5月31日(金)午後6:30
2. 会場 石川洋行の楽蔵2F(入間市黒須 1-10-30)
3. 内容 ①「ある石川組製糸工女の生活と生き方」
(入間市博物館紀要第10号所収)
②「石川家芳名帳」p. 52~(範囲未定)
4. 報告者 ① 染井佳夫 氏
② 石川洋子・綾子 氏



- ・「入間市博物館紀要10号」頒価：600円 博物館ミュージアムショップで販売中！会員の三浦氏と染井氏も執筆しています。当会の研究活動の成果等も反映されています。
- ・入間市博物館ボランティア会会員になって西洋館公開他のお手伝いをお願いできませんか？随時募集中です。ご連絡は染井(電話番号は題字下に記載)まで！

わたしたちと月1回の例会で旧石川組製糸について学びませんか？

学びたい人募集しています！会場：原則として石川洋行「楽蔵」(黒須)会費：2000円/年

未納会員の方は5月例会で会費を戴きます。欠席予定の方はどなたかにお預け下さい。三浦

「石川家の人々」を読む会 SINCE 2009. 5. 13.

49

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須両公民館にもファイルがあり、読むことができます。

NEWS

* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562)、幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517)、三浦久美子・会計担当 発行：2013. 6. 3.

関口なつ入職時の契約金（5円）とほぼ同額だった

当時（昭和4年）発売のウィスキー「サントリー「白札」」が石川洋行に現存！

第48回例会（5/31）のことです。報告者の染井氏が吾野村（現飯能市大字南）から昭和4年に石川組製糸川越工場に14歳で入職した時の契約金が5円で、その年壽屋から発売のウィスキー「サントリー「白札」」とほぼ同額であったことを話していると、石川洋子氏が「そのウィスキーが家にある」と持ってこられました。たしかに広告と同じデザインの、しかし古色蒼然としたそのラベル。裏に「小売価格5円50銭」の文字が。「洋行」を始めた権△「白札」発売広告（昭和4年）と石川洋行蔵の「白札」△吉（石川幾太郎氏の次男）氏が飲酒をしなかったために貰い物？がそのまま残っていたもの。未開栓のまま中身は半分ほどにまで蒸発していましたが、まるで博物館のようなお家です。



1945～47年に来訪した米軍人について石川洋子氏母子が報告—「石川家芳名帖」—

「芳名帖」からは戦後すぐに進駐した米軍人のうち石川家を訪ねた人々の出自等について石川洋子氏と英語に堪能な娘綾子氏が報告。退役軍人が各々の地元で作る米国の web サイトまで検索して興味ある報告をされました。ARTHUR KLAUSER 大尉が「倉生佐'朝夫（クラウザー）」と署名する等、両者の間で和やかな交流があったことを窺わせる記帳も紹介されました。

次回（第49回）例会のお知らせ

1. 期日 2013年6月20日（木）午後6：30
2. 会場 石川洋行の楽蔵2F（入間市黒須 1-10-30）
3. 内容 ① 「時の流れに」 p.53（利根川洋二氏の証言）～（範囲未定）
② 「石川家芳名帖」2冊目 p.1（東郷平八郎）～（範囲未定）
4. 報告者 ① 上田知佐子 氏
② 吉田 茂雄 氏



- ・ 入間市博物館ボランティア会会員になって西洋館公開他のお手伝いをお願いできませんか？ 随時募集中です。ご連絡は染井（電話番号は題字下に記載）まで！

わたしたちと月1回の例会で旧石川組製糸について学びませんか？

学びたい人募集しています！ 会場：原則として石川洋行「楽蔵」（黒須） 会費：2000円/年

未納会員の方は6月例会で会費を戴きます。欠席予定の方はどなたかにお預け下さい。三浦

「石川家の人々」を読む会 SINCE 2009. 5. 13.

50

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須西公民館にもファイルがあり、読むことができます。

NEWS

* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当 発行：2013. 7. 1.

元社員・利根川洋二氏の証言から

「第一次世界大戦後の父親の給与が20円だった」／大正7年 「ボーナス袋を開けたら1000円も入っていたこともある」

* 利根川氏の父は石川組製糸本店に勤めたのち、川越工場創業時に移籍。洋二氏自身も川越の県立農蚕高校卒業後昭和24年から石川秀夫社長に誘われ、川越製糸に勤務。「川越市内東照宮の隣」に親子2代で住む。報告者の上田知佐子氏の調べでは、大正7年の物価は次のとおりです。

・醤油 (1升瓶)：44銭 ・味噌 (1貫/3.75匁)：75銭6厘

参考資料：「物価の文化史事典／展望社2008年刊」「値段史年表／朝日新聞社1988年刊」他



大正11 (1922) 年3月20日来豊 の東郷平八郎を囲む記念撮影について！

本店工場内の大講堂前での記念撮影です。甲府在住の石川三郎氏蔵の資料から写真の人物すべてが判明しました。前後列とも左より

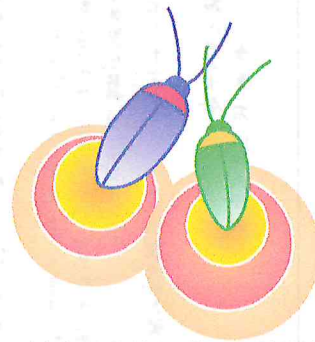
後列：小林三男 (武官), 石川龍蔵, 石川虎三, 石川権吉

前列：神戸壬四郎 (牧師), 石川仁平, 小倉敬止 (実業家), 東郷平八郎, 石川幾太郎, 白井幸助 (幾太郎の次弟), 長島太吉 (石

川洋行蔵の史料には「番頭の佐久間氏」と記載) 報告者の吉田茂雄氏は他にも元田敏夫県知事等につき報告。

次回 (第50回) 例会のお知らせ

1. 期日 2013年7月23日 (火) 午後6:30
2. 会場 石川洋行の楽蔵2F (入間市黒須 1-10-30)
3. 内容 ① 「時の流れに」 p.59 (利根川洋二氏の証言) ~ p.64
② 「石川家芳名帖」2冊目 (佐々木信綱)
4. 報告者 ① 染井 佳夫 氏
② 忍足 ユミ 氏



- ・ 入間市博物館ボランティア会会員になって西洋館公開他のお手伝いをお願いできませんか？ 随時募集中です。ご連絡は染井 (電話番号は題字下に記載) まで！

わたしたちと月1回の例会で旧石川組製糸について学びませんか？

学びたい人募集しています！ 会場：原則として石川洋行「楽蔵」(黒須) 会費：2000円/年

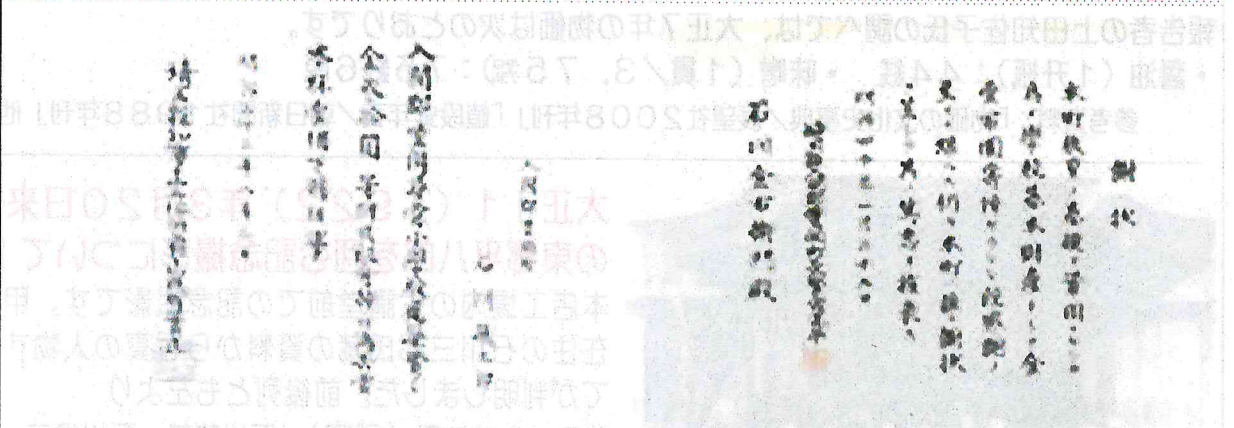
未納会員の方は6月例会で会費を戴きます。欠席予定の方はどなたかにお預け下さい。三浦

「石川家の人々」を読む会 NEWS50号記念

—特別編集面—

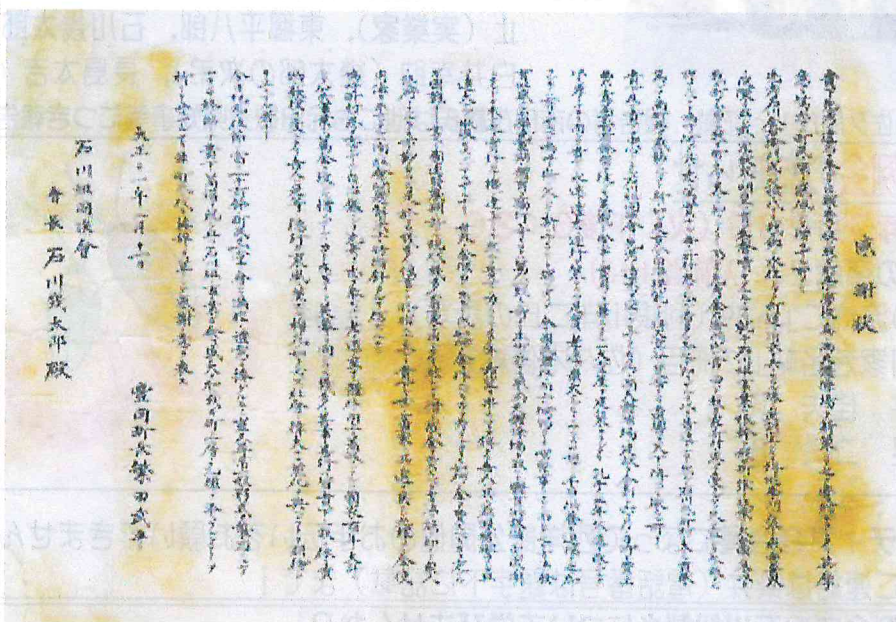
6/14(金)に石川嘉彦氏と染井佳夫の2名で甲府市在住で、「石川家の人々」編集にお力を尽くされた石川三郎氏をお訪ねしました。おひとりおひとりからの原稿や貴重な図面等、初見の史料も多くお預かりしました。多くは未整理ですが、「石川家の人々」を読む会ニュースの50号発行を記念して、通常版の裏面を「特別編集面」として豊岡小の建設や施設拡充のための豊岡町への寄付に関する一部史料をご紹介します。

豊岡尋常小学校に度々の大口寄付！⇒県下に比類なき学校施設に



△明治33年豊岡尋常小建築費に30円を寄付した
ことに対する埼玉県知事よりの賞状

△明治40年学校基本財産として100円を寄付
したことに對する繁田武平豊岡町長よりの感謝状



△大正11年豊岡小学校への雨天体操場寄付に対する繁田武平町長よりの感謝状



△石川幾太郎が寄贈した雨天体操場。当時、こうした施設を有した尋常小学校は県かにほとんどなかった。

こうした寄付や社会貢献は石川家家憲・家訓の忠実な実践であった。

「石川家の人々」を読む会 SINCE 2009. 5. 13.

51

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須町公民館にもファイルがあり、読むことができます。

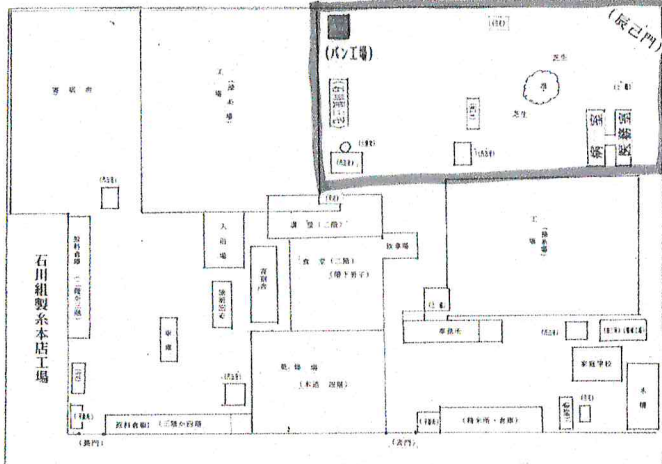
NEWS

* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当 発行：2013. 7. 29.

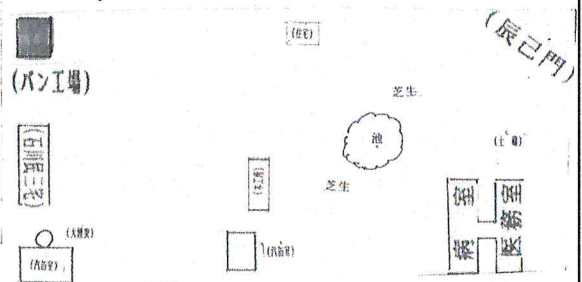
石川三郎氏の記憶によれば……

パン工場まであった本店工場！

パンは迎賓館で使用か？



石川三郎氏が記憶を辿って作成された本店工場の構内配置図です。



敷地の東端繰糸工場を背にしてパン工場があっ

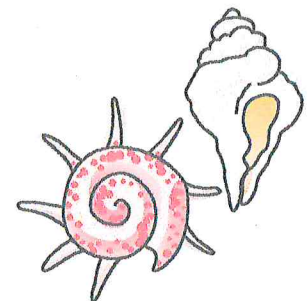
たようです。(図中の彩色部) 構内には米蔵・精米所や医務室・病室や木工所、家庭学校等の記述もあります。この他、沢庵倉まであったとの元工女さんの証言もあります。

現在のところ、工場の食堂の献立の中にパン食が出たことを示す資料はまだ見たことはありませんので、迎賓館において接待したバイヤーやキリスト教関係者の外国人のための施設だったかも知れません。

もし、元工女さん等の関係者の方で、パン食の記憶等がある方がいましたらお知らせ下さい。

次回(第51回)例会のお知らせ

1. 期日 2013年8月21日(水) 午後6:30
2. 会場 石川洋行の楽蔵2F(入間市黒須 1-10-30)
3. 内容 ① 「時の流れに」 p.65(「粕谷義三先生」) ~
② 「石川家芳名帖」2冊目(佐々木信綱)
4. 報告者 ① 吉田 茂雄 氏
② 忍足 ユミ 氏



- ・ 入間市博物館ボランティア会会員になって西洋館公開他のお手伝いをお願いできませんか？ 随時募集中です。ご連絡は染井(電話番号は題字下に記載)まで！

わたしたちと月1回の例会で旧石川組製糸について学びませんか？

学びたい人募集しています！会場：原則として石川洋行「楽蔵」(黒須) 会費：2000円/年

未納会員の方は6月例会で会費を戴きます。欠席予定の方はどなたかにお預け下さい。三浦

「石川家の人々」を読む会 SINCE 2009. 5. 13.

52

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須両公民館にもファイルがあり、読むことができます。

NEWS

* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担

発行：2013. 8. 29.

入間市出身の衆議院議長・その訃報に接し石川幾太郎翁が三日三晩涙したという...

清廉潔白の政治家粕谷義三氏の人柄と事績を報告—吉田茂雄氏—



△義三の雅号「竹堂」の署名部分

8月21日の例会では吉田茂雄氏が県立文書館や国会図書館の史料等から粕谷義三の当時の評価（例 北原白秋）や事績について紹介しました。詳細な年譜も作成されました。また会場を提供して下さっている石川洋行所蔵の粕谷義三の書2点の写真も会員の石川幸子氏から提示されました。幸子氏の実家（鶴ヶ島）の祖父金子助五郎氏は義三を顕彰する竹堂会の会長をされていたそうです。

△「忘私奉公」と題した義三の書（石川洋行蔵）

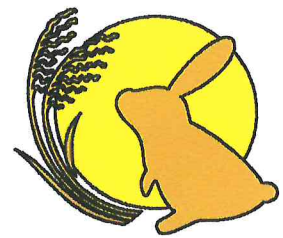
「芳名帳」中の佐佐木信綱氏の来豊時に詠んだ歌が、昭和4年における「石川家芳名帳」と翌5年に石川幾太郎が豊岡公会堂敷地（幾太郎が公会堂用地として寄贈し、現在は市民会館敷地南側に移設）の歌碑で違うことについて忍足氏が考究された。



昭4年来豊の佐佐木信綱、「芳名帳」と「歌碑」2首の微妙な違いを考究/忍足氏

次回（第52回）例会のお知らせ

1. 期日 2013年9月25日（水）午後6：30
2. 会場 石川洋行の楽蔵2F（入間市黒須 1-10-30）
3. 内容 ① 「時の流れに」 p.68（「キリスト教と石川製糸」）～
② 「石川家芳名帖」2冊目（佐藤寛次・大川烏堂）
4. 報告者 ① 石川 嘉彦 氏
② 日々 保紀 氏



今秋から来春にかけて会員による講座が続きます！！

- ・10/5（土）10：00～「石川家・石川組製糸の社会貢献」於旧石川組製糸西洋館 講師：染井 佳夫
- ・11/22, 1/24, 3/28（いずれも金曜日）10：00～ 於入間市立図書館 仮題「入間が生んだモダニストの歌人」（石川信雄に関して） 講師：忍足 ユミ

わたしたちと月1回の例会で旧石川組製糸について学びませんか？

学びたい人募集しています！会場：原則として石川洋行「楽蔵」（黒須）会費：2000円/年
未納会員の方は例会で会費を戴きます。欠席予定の方はどなたかにお預け下さい。三浦

「石川家の人々」を読む会 SINCE 2009. 5. 13.

53

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須南公民館にもファイルがあり、読むことができます。

NEWS

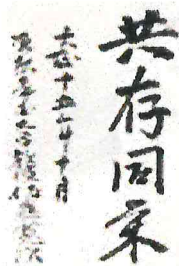
＊発行責任者：会長・染井佳夫（04-2936-3562）、幹事・齋藤祐司（090-2326-7517）、三浦久美子・会計担

発行：2013.10.5.

9月25日の例会では石川嘉彦氏が「時の流れに」68～74頁から、石川和助氏について報告・紹介されました。

若き日の苦学の様子や当初は実業家を目指していたこと、また受洗後は感動の憂き目にあい、奥富村の親戚・増島家が理解と支援をしてくれたことが報告されました。

4年間のアメリカ留学を経て、名門青山教会の牧師を14年間にわたって務め、引退後は一族の教育に力を入れたこと。戦後は川越に住み、質素に過ごしていたが、占領軍のアメリカ兵にスラスラと英語で道案内をして「日本人はこんな田舎の農夫（のような人）でも英語が話せる」と驚かれたこと等は親族ならではのものでした。和助牧師▷



もう一人の報告者・日比保紀氏は「石川家芳名帖」より農政学者・農業経済学者の佐藤寛次（1926年10月来訪）と大川烏堂（1937年3月14日来訪）について報告されました。

佐藤寛次は東京帝国大学の教授でしたが賀川豊彦の同志とも言える人物で、協同組合において保険事業を営むことで農民や労働者・市民を守ることを日本で最初に説いたとのこと。賀川の活動を理論面で支えたとも言えます。

佐藤寛次の来訪を挟むように1924、26の両年に賀川が来訪していることも興味深い事実です。また、謎の人物であった大川烏堂が武州銀行の川越支店長（1932年～）であったことを著書「丘言」を探し出すことによって突き止めました。豊岡治具ゲージを創設した源一郎氏を訪ねた模様。ロシア語まで堪能なインテリ行員だったようです。

次回（第53回）例会のお知らせ

1. 期日 2013年10月29日（火）午後6：30
2. 会場 石川洋行の楽蔵2F（入間市黒須 1-10-30）
3. 内容 ① 「時の流れに」p74（「石川家の家憲」）～
② 「石川家芳名帖」2冊目（木下敏～澤本理結郎）
4. 報告者 ① 染井 佳夫 氏
② 吉田 茂雄 氏



これからも会員による講座があります！！

- ・11/22, 1/24, 3/28（いずれも金曜日）10：00～ 於入間市立図書館
仮題「入間が生んだモダニストの歌人」（石川信雄に関して） 講師：忍足 ユミ

わたしたちと月1回の例会で旧石川組製糸について学びませんか？

学びたい人募集しています！会場：原則として石川洋行「楽蔵」（黒須）会費：2000円/年
未納会員の方は例会で会費を戴きます。欠席予定の方はどなたかにお預け下さい。三浦

SINCE2009. 5. 13.

「石川家の人々」を読む会 NEWS53号附録

—特別編集面—

入間市博物館ALITのエントランスで

“旧石川組製系西洋館の世界”を写真展示

9/28(木)～10/7(日)にかけて、入間市博物館ALITのエントランス・ホールにおいて「旧石川組製系西洋館の世界」と題した写真展示が行われ、多くの市民が見入っていました。



90年の歳月を経て、

いまよみがえる創建当時の教会堂の姿

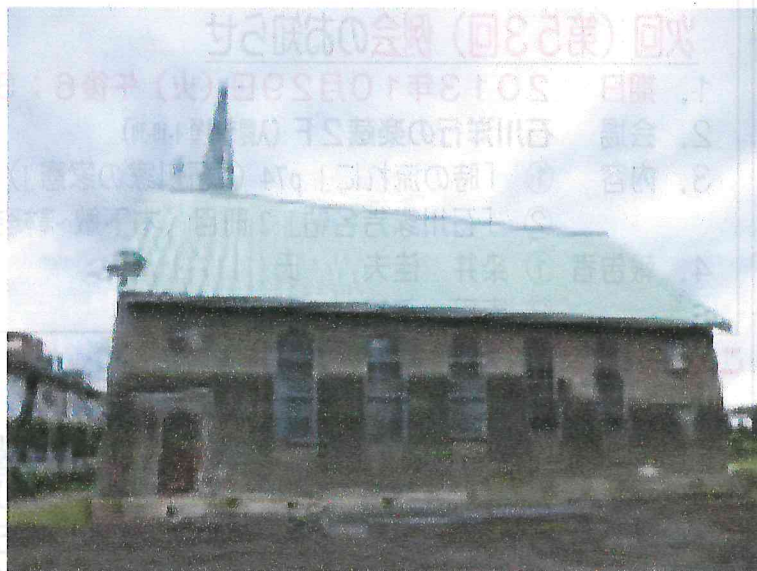
9月末のある日の武蔵豊岡教会です。礼拝堂南側にあった旧恵幼稚園等の付帯施設が取り払われ、大正12年5月の創建当初の頃ほぼそのままの堂宇が姿を現しました。既に庭木はほとんどが無く、今後は大きく建ち位置（角度）を変えた姿でお目見えする予定です。



△ 2013.9.26 北側より撮影



△ 1923.5月頃の撮影



▽ 2013. 9.26 南側より撮影

「石川家の人々」を読む会

SINCE 2009. 5. 13.

54

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須西公民館にもファイルがあり、読むことができます。

NEWS

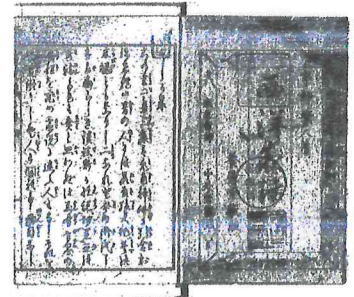
* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562)、幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517)、三浦久美子・会計担 発行：2013.11.5.

石川和助の足跡と石川家家憲・家訓の意義について報告と論議

10月29日の例会では染井佳夫氏が「時の流れに」74頁～から、石川家の家憲およびその起草者である石川和助について、今年度の西洋館講座で使用した資料からの抜粋を用いて報告・紹介しました。

石川和助は、明治24年の神田教会赴任を皮切りに31年間の牧師生活を経て引退しますが、青山教会の牧師時代には「石川家家憲・家訓」を制定し、引退後は「一族の教育主任」を自認し、労働体験を重視した青少年教育に力を入れたことが、「石川家の人々」等を用いて報告されました。

若き日の和助が愛読した「福澤諭吉著・西洋夜話」▷

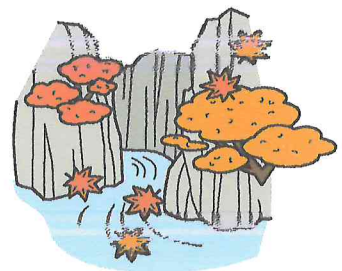


吉田茂雄氏は「石川家芳名帖」より陸軍航空士官学校長の木下 敏 (1939年4月26日来訪) と河原利明、澤本理吉郎ら軍人の来訪者 (1939年4月誌) について報告されました。

侍従武官澤本理吉郎についてはビルマ (当時) 独立義勇軍を編成させ当時ビルマを経由していた援蒋 (介石) ルートを遮断する作戦をとり、"南機関" という特務機関を秘密裏に作っていた。南機関解散後、独立ビルマ軍政顧問部を担ったのが澤本少将だった。河原利明少将は武蔵村山市 (現) に設立された1年制で少年航空兵を養成した東京陸軍航空学校の第2代校長となった。吉田氏らしく、武蔵村山市まで足を運んで調べられての報告でした。 **3人の軍人と東京陸軍航空学校 (武蔵村山市) について**

次回 (第54回) 例会のお知らせ

1. 期日 2013年11月21日 (木) 午後6:30
2. 会場 石川洋行の楽蔵2F (入間市 1-10-30)
3. 内容 ① 「時の流れに」 p74 (「石川製糸工場について」) ~
② 「石川家芳名帖」2冊目 (木植松綾磨〜寺正・院)
4. 報告者 ① 石川嘉彦氏 ② 上田知佐子氏



《会員の方へ予告》12月例会 (12/9・月) 後、楽蔵3階で恒例の忘年会を行います!

これからも会員による講座があります!! (申し込み先/図書館本館まで、電話か口頭にて11/1より受付開始)

- ・11/22, 1/24, 3/28 (いずれも金曜日) 10:00~ 於入間市立図書館
- 仮題「入間が生んだモダニストの歌人」(石川信雄に関して) 講師: 忍足 ユミ

わたしたちと月1回の例会で旧石川組製糸について学びませんか?

学びたい人募集しています! 10月も新会員が加入しました。

会場: 原則として石川洋行 "楽蔵" (驛) 会費: 2000円/年

未納会員の方は例会で会費を戴きます。欠席予定の方はどなたかにお預け下さい。三浦

「石川家の人々」を読む会 SINCE 2009. 5. 13.

55

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須南公民館にもファイルがあり、読むことができます。

NEWS

＊発行責任者：会長・染井佳夫（04-2936-3562）、幹事・齋藤祐司（090-2326-7517）、三浦久美子・会計担当 発行：2013.11

川越工場の盛衰と共に生きた片岡平和さんの証言

「石川家（“オクンチ”）と従業員は喜びも苦しみも分かち合った」

石川嘉彦氏は「時の流れに」中の元川越工場従業員片岡平和氏の証言について 昭和 12 報告されました。その際、片岡氏が住んでいた社宅を含 年には、浄土 む川越工場と石川邸の配置図（裏面に印刷）を示さ 真宗第 23 世門主 れました。“オクンチ（「奥ン家」？）”と呼ば の大谷光照氏が石川家 れていた石川秀夫（川越工場の初代経営 を訪ねています。氏は、 者石川仁平氏の子）氏邸は 2012 “大谷探 年に解体されています。 険隊”で知られ 石川嘉彦氏は秀夫氏の子の る大谷光瑞氏の跡を継 宏之氏作成になる邸宅 いて門主となった教団の指 内部写真のアルバ 導者です。東京帝大文学部東洋 ムを持参され 史学科卒。趣味のテニスを通じて、 石川源一郎氏（幾太郎の孫・嘉彦氏の父） と交流があったのではないかと推測されます。 上田氏の調べによれば、来訪（1937. 4. 5） された。 の19日後に光照氏は京都の本山において結婚式を挙げ たとのこと。挙式を報ずる読売新聞の記事も紹介されました。



川組製糸川越工場
後川越製糸）社長
石川秀夫邸（おぢ
ての石川組製糸川越
工場の繁栄を示

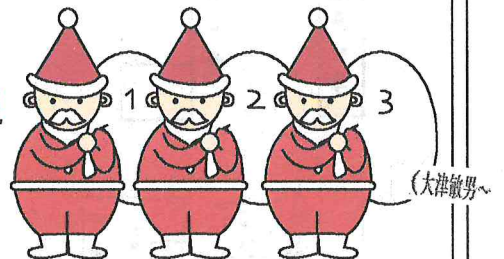
大谷光照氏
昭和十二年
大谷光照氏

1937年来訪の大谷光照氏（真宗第23世門主）他を報告 / 上田知佐子氏

次回（第55回）例会および忘年会のお知らせ

1. 期日 2013年12月16日（月）午後6:00
2. 会場 石川洋行の楽蔵2F（入間市黒須 1-10-30）
3. 内容 「石川家芳名帖」2冊目（木下敏～澤本理吉郎）
4. 報告者 栗山貫一郎 氏

*12月例会は「入間市の文化遺産をいかす会」と合同で忘年会を行うため報告は上記1本のみとしました。



これからも会員による講座があります！！

- ・1/24, 3/28（いずれも金曜日）10:00～ 於入間市立図書館
仮題「入間が生んだモダニストの歌人」（石川信雄に関して） 講師：忍足 ユミ

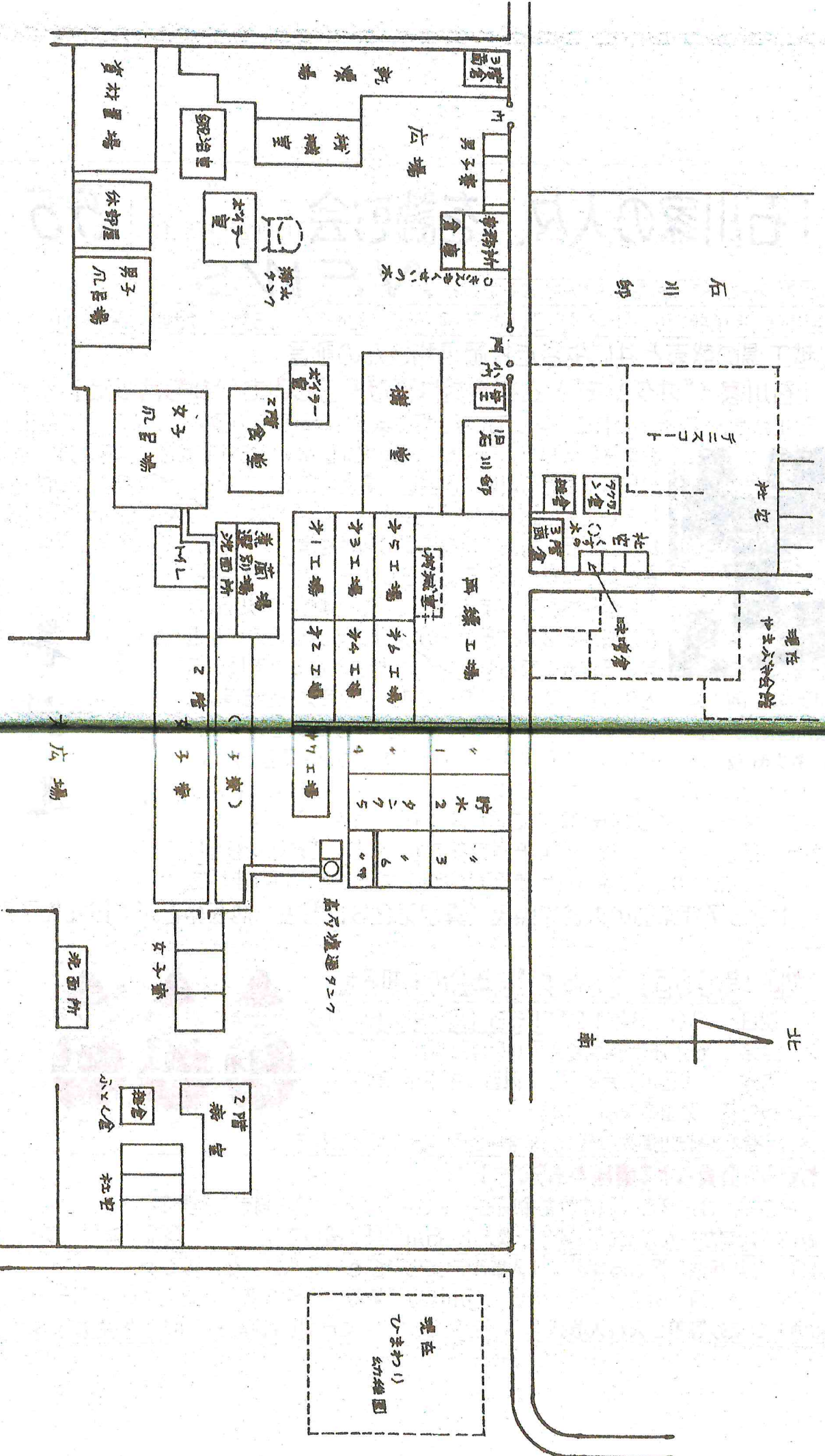
2013年を振り返る忘年会！「入間市の文化遺産をいかす会」と合同で！

12/16（月）例会終了後 会場：石川洋行“楽蔵”（黒須）3階 会費：1000円

お酒・つまみ等差し入れ大歓迎：11月例会に欠席した方は出席連絡を石川洋子 2962-3420 まで

川越製糸工場 取図

昭和15年現在



正取真片岡平和氏提供

「石川家の人々」を読む会 SINCE 2009. 5. 13.

56

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須雨公民館にもファイルがあり、読むことができます。

NEWS

＊発行責任者：会長・染井佳夫（04-2936-3562）、幹事・齋藤祐司（090-2326-7517）、三浦久美子・会計担当 発行：2013.12.24



住民避難に最後まで尽力した樺太庁長官・元埼玉県（官選第36代）知事大津敏男

12月例会は忘年会を兼ねていたため、「芳名帖」に関する報告のみでした。

大津敏男は官選により1942年から埼玉県知事を務めた内務官僚。1943年より樺太庁の長官に任ぜられ、1945年8月、現地で終戦とそれに先立つソ連軍の侵攻を受けましたが、関東軍が家族とともに逃亡帰国する中、（当然のこととはいえ）最後まで在任邦人の避難帰国に尽力し、同年12月逮捕されました。その後5年間ハバロフスクに抑留。1956年には全国樺太連盟を代表して日ソ共同宣言に関し国会で意見陳述。1958年12月27日死去した。

長崎県出身の陸軍軍人菅原道大は、歩兵大隊長から航空兵科に転じた変り種。米・欧にも出張経験があり、当初は合理精神の持ち主だったらしい。しかし、戦争末期に陸軍特別攻撃隊の指揮を執るようになると、海軍特攻との競争的確執や機材の不足や操縦・整備の技量劣化等から次第に精神主義に傾き、死んだ特攻兵士の“軍神”化による国民精神の鼓舞に走るようになった。

福岡市内の私立女学校寄宿舎を転用した「振武寮」に、出撃したものの整備不良等で生き残った特攻兵士を収容し、「国賊」「虫快者」と罵倒・暴行させた。「終戦の詔勅」後、副官が最後の特攻機を菅原に用意したところ「俺には他にすべきことがある」と拒否した。（「陸軍特攻振武寮」大貫健一郎著他）

「貴様らだけを死なせはせん！俺も最後の機で後を追う」と

多くの若者を特攻に送り、生き残者は罵倒させた菅原道大陸軍中將



△菅原道大による記帖

次回（第56回）例会のお知らせ

1. 期日 **2014年 1月31日（金）午後6：30**
2. 会場 **石川洋行の楽蔵2F**
3. 内容 ① 「時の流れに」p.83「両親が愛した職場」・「父仁平のこと」
② 「石川家芳名帖」2冊目（「精緻」, 寺元志雄～）
4. 報告者 ① 染井佳夫 氏
② 吉田茂雄 氏



これからも会員による講座があります！！

- ・1/24, 3/28（いずれも金曜日）10：00～ 於入間市立図書館（要申し込み）
「モダニズム歌人 石川信雄の生涯—石川製糸一族の異才—」 講師：忍足 ユミ

私たちと石川組製糸の歴史を調べ、学びませんか？

お問い合わせ・お申し込みは、蔵守下の役員2名か下記の石川洋行まで！

会場：石川洋行「楽蔵」（入間市黒須1-10-30/TEL04-2962-3420）2階 会費：2000円/年

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須岡公民館にもファイルがあり、読むことができます。

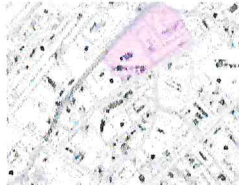
* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当

発行：2014. 2. 6

1916年に操業開始された

石川組製糸第4（入間川）工場の位置わかる

吉田茂雄氏が古写真から確認



◁ 3. 地図上で確定



1. 「狭山市史」資料編の古写真△

2. 同地点から見渡し△

4. 現在はマンションが建つ△

1月31日の第56回例会で発見がありました。これまで、「現AEON（イオン）から道路を隔てた駐車場の付近」という以外分からなかった石川組製糸第4（入間川）工場の位置が分かったのです。「狭山市史・資料編所収の写真」中の煙突から上記の方法で推測し、現地でも昔からの住民の方に確認できたものです。工場全景や作業工程等の写真が見つかることを祈りたいものです。お心当たりの方は狭山市・入間市の博物館または当会へご連絡下さい。

「大地の園」のヒロイン・まりちゃんの写真！初代川越工場長石川仁平氏の娘で「大地の園」のヒロインのモデル増島満喜さんの写真。右は夫頼三氏。



復員後「中帰連」の活動をした藤田茂陸軍大将の記帖から、捕虜生活や収容所での教育について話し合いました。



次回（第57回）例会のお知らせ

1. 期日 2014年 2月25日（火）午後6：30
2. 会場 石川洋行の楽蔵2F
3. 内容 ① 「時の流れに」 p.87~90 「石川製糸あれこれ／小島良夫」
② 「石川家芳名帖」2冊目（「制大海」／高橋三吉〜）
4. 報告者 ① 忍足ユミ 氏
② 吉田茂雄 氏



これからも会員による講座があります！！

- 3/14（金）18：30～ 於狭山市立コミュニティセンター（要 FAX 申し込み/所沢法人会狭山支部 04-2954-3306）
「入間川町・豊岡町・川越市を中心とした石川組製糸の社会貢献」 講師：染井 佳夫
- 3/28（いずれも金曜日）10：00～ 於入間市立図書館（要申し込み/04-2964-2415）
「モダニズム歌人 石川信雄の生涯－石川製糸一族の異才－」 講師：忍足 ユミ

私たちと石川組製糸の歴史を調べ、学びませんか？

お問い合わせ・お申し込みは、題字下の役員2名か下記の石川洋行まで！

会場：石川洋行「楽蔵」（入間市黒須1-10-30/TEL04-2962-3420）2階 会費：2000円/年

「石川家の人々」を読む会

SINCE 2009. 5. 13.

58

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須岡公民館にもファイルがあり、読むことができます。

NEWS

* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562)、幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517)、三浦久美子・会計担当

発行：2014. 2. 28



石川製糸本店工場の看護婦（当時の呼称）が日露戦争に従軍・赤十字章を受ける！後、結婚して渡米、クリスチャンとして活動（D. キーン氏も注目/小島良夫氏「東洋経済」記者→「川越ペン」の証言）

△赤十字章（「金色章」「銀色章」等があった。）／右は拡大した写真

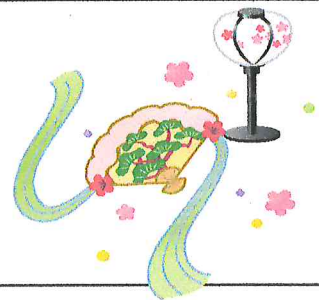
報告者の忍足氏（歌人、石川信雄研究家）は藤井美登利氏（川越文化の紹介誌発行や各種イベントプロデューサーとして活躍中）から取材されて小島氏の来歴や氏が仁平氏の子恒平・久夫氏らと川越中学に同時期に在学していたことを報告。また、仁平氏の長女・満喜氏が年齢の近さから原ノ町（保次郎・りよ一信雄・・・）と仲が良かったのではないかとの考えを発表された。/「大地の園」第4部では満喜（作中では「まり」）や秀夫と（原ノ町の）信雄との交流が描かれている。晩年の満喜氏は「原町会」にも参加されていた。（染井） また、小島氏による「新潟県六日町からも川越（石川組製糸川越工場？）に大勢働きに来ていたことを知った」とあるのは国鉄川越線の全通（昭和15年）により、利便性が増したことの影響があったのかも知れない。

【吉田茂雄氏の報告】 終戦直前の昭和20年7月に来訪した石川愛陸軍中將は新会村新戒（現深谷市）の生まれ。兄栄一は県議。甥文夫は飯能町長平岡良蔵の娘敏子と結婚。良蔵は平岡仙太郎の弟で戦後西武町の合併（武蔵町か飯能町か）を巡る一方の当事者。なお、敏子は石川信夫の作った短歌会・宇宙風の同人だった。

可憐別荘一合住
石川信夫の遺稿
吉田茂雄氏報告

次回（第58回）例会のお知らせ

1. 期日 2014年 3月24日（月）午後6：30
2. 会場 石川洋行の楽蔵2F
3. 内容 ① 「時の流れに」p90～「仁平社長の思い出／岡田宏氏」～
② 「石川家芳名帖」2冊目（1945.11.7～のサイン群～）
4. 報告者 ① 石川 洋子 氏 ② 石川 嘉彦 氏



これからも会員による講座があります！！

- 3/14（金）18：30～ 於狭山市立コミュニティセンター（要 FAX 申し込み/所沢法人会狭山支部 04-2954-3306）
「入間川町・豊岡町・川越市を中心とした石川組製糸の社会貢献」 講師：染井 佳夫
- 3/28（金）10：00～ 於入間市立図書館（要申し込み/04-2964-2415）**ともに無料**
「モダニズム歌人 石川信雄の生涯—石川製糸一族の異オー—」 講師：忍足 コミ

私たちと石川組製糸の歴史を調べ、学びませんか？

ニュース購読のみ（毎月1号発行）の方も可です！毎月お届けします

お問い合わせ・お申し込みは、題字下の役員2名か下記の石川洋行まで！

会場：石川洋行「楽蔵」（入間市黒瀬1-10-30/TEL04-2962-3420）2階 会費：2000円/年

「石川家の人々」を読む会

SINCE 2009. 5. 13.

59

NEWS

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須南公民館にもファイルがあり、読むことができます。

* 発行責任者：会長・染井佳夫（04-2936-3562）、幹事・齋藤祐司（090-2326-7517）、三浦久美子・会計担当

発行：2014. 3. 28

権吉（幾太郎氏二男）氏・小佐次氏親子のツェッペリン号見物と武蔵野鉄道での帰宅時エピソード

「愛の心」の人・仁平社長（川越工場）の思い出－元従業員岡田宏氏の証言－から広がって



△ 1930年当時のツェッペリン号

報告者の石川洋子氏は仁平氏が白ロシア人の行商人から大量の買い物をする等誰に対しても同情心の強い「愛の心」の人であったことを当時の国際情勢を示す年表を示して説明しました。岡田少年が教会に行くと仁平氏がいつも「イカせんべい」をくれたり、父が死ぬと母や自分を働かせてくれたという証言にも着目。また、父小佐次氏が祖父権吉氏につれられて上野公園まで来日したツェッペリン号を観に行った帰りに、池袋の東京事務所で出会った幾太郎氏と帰宅することになった時に武蔵野鉄道

社長だった幾太郎氏の顔を知らない車掌に車内で“無賃乗車”を厳しく咎められた幾太郎氏が、扇子で彼の頭をポカリとやった事。しかし後に秋津駅の助役に立ち上がったエピソードを紹介しました。また、祖父（権吉氏）や父（小佐次氏）が牧師を“神様の次の人”と表現していたエピソードは娘ならではのもの。

【報告1】強力な新会員加入！ 所沢織物文化研究会の玉井康夫氏。西洋館公開が縁で入会。かつて丸紅で繊維を扱ってこられたというビジネスマン。繊維にとっても詳しい方です。

【報告2】埼玉県絹文化研究会発足！ 3月23日川越氷川会館で設立総会。NPO法人「川越きもの散歩」の藤井美登利氏のお誘いで忍足氏・染井氏が参加。会長は高麗神社の高麗文康宮司。記念講演「日本の絹をめぐる文化」を法政大学の田中優子次期総長が行い、交流会も行われた。

【報告3】「打木村治の自伝的長編小説『天の園』『大地の園』NHK朝ドラ化をすすめる会」という会が東松山市唐子から発足。石川嘉彦氏が理事就任。設立総会で染井氏が短い講演。

次回（第59回）例会のお知らせ

1. 期日 2014年 4月25日（金）午後6：30

2. 会場 石川洋行の楽蔵2F

3. 内容 ① 「時の流れに」p 93「楽しかった習い事／松本たつ子氏」～

② 「石川家芳名帖」2冊目（1945.11.7～のサイン群～）

4. 報告者 ① 忍足 ゆみ 氏 ② 石川 嘉彦 氏（手術後のため体調によっては延期）

***4月例会は2014年度総会も兼ねて開催します！！会費(2000円/年)納入をお願いします！**

今年度の「西洋館特別公開」日が決まりました！！

4/19(土)、5/17(土)、6/21(土)、9/20(土)、10/18(土)、11/16(日) 公開：10:00～16:00 〃の期日は2階も公開

*「入間市の文化遺産をいかに会」総会4/13(日)だそうぞ。会員の方はご出席を！終了後懇親会も！

私たちと石川組製系の歴史を調べ、学びませんか？

ニュース購読のみ(毎月1発行)の方も可です！毎月お届けします

お問い合わせ・お申し込みは、題字下の役員2名か下記の石川洋行まで！

会場：石川洋行「楽蔵」（入間市黒須1-10-30/TEL04-2962-3420）2階 会費：2000円/年



「石川家の人々」を読む会 SINCE 2009. 5. 13.

60

入間市立図書館・各分館と久保稲荷、黒須南公民館にもファイルがあり、読むことができます。

NEWS

* 発行責任者：会長・染井佳夫 (04-2936-3562), 幹事・齋藤祐司 (090-2326-7517), 三浦久美子・会計担当

発行：2014. 4. 28

工場での製糸工程について報告！「今昔物語」(12C. 前半に成立)に見る平安期の養蚕事情を報告！



—忍足ユミ氏が古典文学を用いてユニークな報告—

報告者の忍足氏は、神田くに子氏の証言に基づき機械製糸工程に関する資料を紹介し、製糸に詳しい玉井氏の説明もあって有益な議論がなされました。また、「今昔物語」中の「犬頭の糸」の話を通して平安期にも生糸が盛んに作られていたことが紹介されました。

◁「今昔物語集」(角川ワイド文庫・ビギナーズクラシック)

John.Ishikawa は石川源一郎氏のニックネーム **子息の石川嘉彦氏が「芳名帖」から報告！**

「芳名帖」からは石川嘉彦氏が進駐軍の大尉やニューヨークの編集者等の訪問を報告しました。

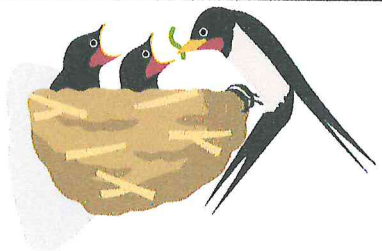
【報告1】吉田茂雄氏が県立文書館で石川和助氏の履歴書等を発見！比企郡立横見中学校に採用された石川和助氏の履歴書等を会員の吉田氏が県立文書館で入手。これにより、和助氏が横見中の後に奥富小に勤務していたことが判明しました。また、高篠保次郎氏の履歴書も見つかりました。

【報告2】養蚕部所蔵写真等の史料発掘！青木和子・吉田茂雄・染井佳夫の3氏で3月から4月にかけて、石川組製糸養蚕部関係の史料調査を行いました。約200枚の写真史料の中には、若き日の石川幾太郎氏、石川津免(おつめさん・あーちゃん)や珍しい養蚕に関する写真多数がありました。調査にあたっては渋谷とし・石川信男・石川あき子の3人の方々に大変お世話になりました。

【報告3】いき出版より刊行予定の「写真アルバム 狭山・入間の昭和」に石川組製糸関係の写真を収録！新潟市に本社のある「いき出版」が表題の写真集を今夏発刊予定です。狭山市在住の編集協力者の方の紹介で染井佳夫・吉田茂雄両氏が入間市部分の編集作業に参加。当初予定になかった「石川組製糸」「武蔵豊岡教会」関係の写真等も収録されることになりました。

次回(第60回)例会のお知らせ

1. 期日 2014年 5月27日(火) 午後6:30
2. 会場 石川洋行の楽蔵2F
3. 内容 ① 「時の流れに」p97「侍従のご差遣と祝典歌」
② 「石川家芳名帖」2冊目(1945.11.7～のサイン群～)
4. 報告者 ① 日比 保紀氏 ② 石川 洋子氏



***4月例会は2014年総会も兼ねて開催しました！！欠席・未納の方は会費(2000円/年)納入をお願いします！**

これからの「西洋館特別公開」日！お手伝い(ボランティア)をお願いします！お申し出は染井まで
5/17(土), 6/21(土), 9/20(土), 10/18(土), 11/16(日) 公開:10:00~16:00 〃の期日は2階も公開

私たちと石川組製糸の歴史を調べ、学びませんか？

ニュース購読のみ(毎月1発行)の方も可です！毎月お届けします

お問い合わせ・お申し込みは、題字下の役員2名か下記の石川洋行まで！

会場：石川洋行「楽蔵」(入間市黒瀬1-10-30/TEL04-2962-3420)2階 会費：2000円/年

*4月例会の中で今年度総会がひらかれ、前年度決算・今年度予算が承認されました。役員は留任です。